

科目分類	専門基礎分野	対象学年	1年
授業科目	解剖生理学 I 構成・骨格・筋 消化 生殖・発生	単位(時間)	1単位 (30 時間)
講師名	村上直也 原田裕士 船曳哲典	開講時期	前期
授業目標	人間の生命を維持し、日常生活を営むうえで必要な運動機能、栄養摂取、排泄、性と生殖に関与している人体の構造と機能が理解できる。		
授業内容	回数	内容	授業形態
	1	【構成・骨格・筋】 形からみた人体	講義
	2	素材からみた人体	講義
	3	機能からみた人体	講義
	4	皮膚の構造と機能	講義
	5	生体の防御反応	講義
	6	代謝と運動	講義
	7	体温とその調節	講義
	8	【消化】 栄養の消化と吸収 消化器解剖の基礎	講義
	9	口・咽頭・食道の構造と機能	講義
	10	腹部消化管の構造と機能	講義
	11	腹部消化管の構造と機能	講義
	12	膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	講義
	13	腹膜	講義
	14	【生殖・発生】 生殖・発生と老化のしくみ 男性生殖器 女性生殖器	講義
15	受精と胎児の発生 成長と老化	講義	
授業形態	講義		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		
参考書			
評価方法	試験 課題 受講態度		
履修上の指導等			

科目分類	専門基礎分野	対象学年	1年
授業科目	解剖生理学Ⅱ 呼吸・循環・血液	単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	小野愁美 脇田富雄	開講時期	前期
授業目標	1. 人間の生命を維持し、日常生活を営むうえで必要な呼吸・循環に関与している人体の構造と機能が理解できる		
授業内容	回数	内容	授業形態
	1	【呼吸・血液】 呼吸器の構造	講義
	2	呼吸（口呼吸と外呼吸、呼吸運動、呼吸器量）	講義
	3	呼吸（ガス交換とガスの運搬、肺の循環と血流、呼吸運動の調節）	講義
	4	呼吸（呼吸器系の病態生理）	講義
	5	血液（赤血球）	講義
	6	血液（白血球、血小板）	講義
	7	血液（血液型）	講義
	8	まとめ	講義
	9	【循環】 循環器系の構成	講義
	10	心臓の構造	講義
	11	心臓の拍出機能	講義
	12	末梢循環系の構造	講義
	13	血液の循環の調節	講義
	14	リンパとリンパ管	講義
15	まとめ	講義	
授業形態	講義		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		
参考書			
評価方法	試験 受講態度		
履修上の指導等			

科目分類	専門基礎分野	対象学年	1年
授業科目	解剖生理学Ⅲ 泌尿器系・内分泌・生体防御	単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	細川貴規 岸川秀樹	開講時期	前期
授業目標	1. 人間の生命を維持し、日常生活を営むうえで必要な排泄・内分泌・皮膚・生体防御に参与している人体の構造と機能が理解できる		
授業内容	回数	内容	授業形態
	1	【泌尿器系】 体液の調整と尿の生成 マクロ的な解剖機能について	講義
	2	ミクロ的な解剖機能について	講義
	3	尿の生成と分泌と再吸収	講義
	4	体液の調節	講義
	5	【内分泌系】 内臓機能の調節 自律神経による調節	講義
	6	内分泌系による調節	講義
	7	全身の内分泌腺と内分泌細胞	講義
	8	全身の内分泌腺と内分泌細胞	講義
	9	ホルモン分泌の調節	講義
	10	ホルモンによる調節の実際	講義
	11	【生体防御】 皮膚の構造と機能	講義
	12	生体の防御機構	講義
	13	代謝と運動	講義
	14	体温とその調節	講義
15	まとめ泌尿器系	講義	
授業形態	講義		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		
参考書			
評価方法	試験 受講態度		
履修上の指導等			

科目分類	専門基礎分野	対象学年	1年
授業科目	解剖生理学IV 脳・神経・感覚器	単位(時間)	1単位 (15時間)
講師名	林 広隆	開講時期	前期
授業目標	1. 人間の生命を維持し、日常生活を営むうえで必要な脳・神経・感覚に関与している人体の構造と機能が理解できる		
授業内容	回数	内容	授業形態
	1	神経系の構造と機能	講義
	2	脊髄と脳	講義
	3	脊髄神経と脳神経	講義
	4	脳の高次機能	講義
	5	運動機能と下行伝導路	講義
	6	感覚機能と上行伝導路 眼の構造と視覚	講義
	7	耳の構造と聴覚・平衡覚	講義
	8	味覚と嗅覚	講義
授業形態	講義		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院		
参考書			
評価方法	試験 受講態度		
履修上の 指導等			

科目分類	専門基礎分野	対象学年	1年
授業科目	生化学	単位(時間)	1単位(30時間)
講師名	富田 浩平	開講時期	前期
授業目標	1. 人体の構成成分である化学物質の性状、その分布および代謝について理解できる。		
授業内容	回数	内容	授業形態
	1	生体の成り立ちと生体分子	講義
	2	タンパク質の性質	講義
	3	酵素の性質と働き	講義
	4	生体内における糖質の代謝	講義
	5	生体内における脂質の代謝	講義
	6	生体内におけるアミノ酸およびタンパク質の代謝	講義
	7	生体内における核酸の役割	講義
	8	体液	講義
	9	ホルモン	講義
	10	ビタミン	講義
	11	内部環境の恒常性 ホメオスターシス	講義
	12	消化・吸収と栄養価	講義
	13	血液	講義
	14	尿	講義
	15	免疫 各臓器の役割	講義
授業形態	講義		
テキスト	わかりやすい生化学 (HIROKAWA)		
参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 (医学書院)		
評価方法	試験 受講態度		
履修上の指導等			

科目分類	専門基礎分野	対象学年	1年
授業科目	病理学総論	単位(時間)	1単位 (20時間)
講師名	和田 正文	開講時期	後期
授業目標	1. 疾病の原因や発生、形態・機能の変化と代謝変化の経過が理解できる。		
授業内容	回数	内容	授業形態
	1	病理学で学ぶこと	講義
	2	細胞・組織の障害と修復	講義
	3	循環障害	講義
	4	炎症と免疫	講義
	5	感染症の治療と予防	講義
	6	老化と死	講義
	7	先天異常と遺伝子治療	講義
	8	腫瘍	講義
	9	腫瘍、病理診断の実際	講義
	10	全章 復習	講義
授業形態	講義		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学総論 医学書院		
参考書			
評価方法	筆記試験 受講態度		
履修上の 指導等			

科目分類	専門基礎分野		対象学年	1年生
授業科目	疾病論 I 運動器 循環器		単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	運動器:村上直也 循環器:脇田富雄		開講時期	後期
授業目標	<p>1. 運動器・循環器が障害された時のフィジカルアセスメントの基礎的知識を養う。</p> <p>2. 運動器・循環器が障害されたときの特徴的な症状、病態生理を学びそれに対する処置・治療を理解する。</p>			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～6	【運動器】 1. 運動器の構造と機能 2. 疼痛・形態の異常 3. 神経の障害 4. 診断検査と治療処置 5. 疾患の理解	講義	
	7～15	【循環器】 1. 症状とその病態生理 2. 検査と治療 3. 疾患の理解 虚血性心疾患 心不全 血圧異常 不整脈 弁膜症下心膜炎 心筋疾患	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門Ⅱ 成人看護学[10]運動器 医学書院 専門Ⅱ 成人看護学[3]循環器 医学書院			
参考書				
評価方法	聴講態度 筆記試験			
履修上の指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年生
授業科目	疾病論Ⅱ 呼吸器 アレルギー 膠原病 感染症		単位(時間)	1単位(30時間)
講師名	呼吸器:樋口定信 アレルギー 膠原病:和田 正文 感染症:和田 正文		開講時期	後期
授業目標	1. 呼吸器 アレルギー 膠原病 感染症に対するフィジカルアセスメントの基礎的知識を養う。 2. 呼吸器 アレルギー 膠原病 感染症の特徴的な症状、病態生理を学びそれに対する処置・治療を理解する。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～7	【呼吸器】 1. 症状とその病態生理 2. 検査と治療 3. 疾患の理解	講義	
	8～11	【アレルギー】 1. 免疫の仕組み 2. 検査と治療 3. 疾患の理解 【膠原病】 1. 自己免疫疾患とその機序 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解	講義	
	12～15	【感染症】 1. 感染症とは 2. 感染症の診断 3. 感染症の治療 4. 疾患の理解	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門Ⅱ 成人看護学[2]呼吸器 医学書院 専門Ⅱ 成人看護学[11]アレルギー 膠原病 感染症 医学書院			
参考書				
評価方法	聴講態度 筆記試験			
履修上の指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	1年生
授業科目	疾病論Ⅲ 歯・口腔 消化器		単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	歯・口腔:福田敏博 消化器 :原田裕士		開講時期	後期
授業目標	<p>1. 歯・口腔、消化器が障害されたときのフィジカルアセスメントの基礎的知識を養う。</p> <p>2. 歯・口腔、消化器(胸・頸部)が障害されたときの特徴的な症状、病態生理を学びそれに対する処置・治療を理解する。</p>			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～4	【歯・口腔】 1. 症状とその病態生理 2. 検査と治療 3. 疾患の理解	講義	
	5～15	【消化器】(胸頸部含む) 1. 症状とその病態生理 2. 検査と治療・処置 3. 疾患の理解	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門Ⅱ 成人看護学[15] 歯・口腔医学書院 成人看護学[5] 消化器 医学書院 別刊 臨床外科看護各論			
参考書	系看 別巻2 臨床外科看護各論 医学書院			
評価方法	筆記試験			
履修上の指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年生
授業科目	疾病論Ⅳ 脳・神経 血液・造血器		単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	脳・神経:林 広隆 熊大医師 血液・造血器:中原大智		開講時期	前期
授業目標	<p>1. 脳・神経、血液・造血器が障害された時のフィジカルアセスメントの基礎的知識を養う。</p> <p>2. 脳・神経、血液・造血器が障害されたときの特徴的な症状、病態生理を学びそれに対する処置・治療を理解する。</p>			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～11	【脳・神経】 1. 症状とその病態生理 2. 検査・診断と治療・処置 3. 疾患の理解 脳疾患 脊髄疾患、末梢神経障害 筋疾患・神経筋接合部疾患、 脱髄・変性疾患 神経系の感染症、中毒、 てんかん、認知症 内科疾患に伴う神経疾患 4. 脳神経外科 頭部外傷 脳腫瘍	講義	
	12 ～ 15	【血液・造血器】 1. 検査・診断と症候・病態生理 2. 疾患と治療の理解 貧血 造血器腫瘍 出血性疾患	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門Ⅱ 成人看護学〔7〕脳・神経 医学書院 専門Ⅱ 成人看護学〔4〕血液・造血器 医学書院			
参考書				
評価方法	聴講態度 筆記試験			
履修上の 指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年生
授業科目	疾病論Ⅴ 内分泌・代謝 腎・泌尿器 女性生殖器		単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	内分泌・代謝:岸川秀樹 腎・泌尿器:西 一彦 女性生殖器:黒田くみ子		開講時期	前期
授業目標	1. 内分泌・代謝、腎・泌尿器、女性生殖器が障害された時のフィジカルアセスメントの基礎的知識を養う。 2. 内分泌・代謝、腎・泌尿器、女性生殖器が障害されたときの特徴的な症状、病態生理を学びそれに対する処置・治療を理解する。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～5	【内分泌・代謝】 1. 症状とその病態生理 2. 検査と治療・処置 3. 疾患の理解	講義	
	6～10	【腎・泌尿器】 1. 症状とその病態生理 2. 検査と治療・処置 3. 疾患の理解	講義	
	11～15	【女性生殖器】 1. 症状とその病態生理 2. 診察・検査と治療・処置 3. 疾患の理解	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門Ⅱ 成人看護学〔5〕内分泌・代謝 医学書院 専門Ⅱ 成人看護学〔8〕腎・泌尿器 医学書院 専門Ⅱ 成人看護学〔9〕女性生殖器 医学書院			
参考書				
評価方法	聴講態度 筆記試験			
履修上の指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年
授業科目	疾病論VI(感覚器)		単位(時間)	1単位(30時間)
講師名	熊大医師(耳鼻咽喉 皮膚) 竹下哲二(眼)		開講時期	後期
授業目標	1. 眼、耳鼻咽喉、皮膚が障害されたときのフィジカルアセスメントの基礎的知識を養う。 2. 眼、耳鼻咽喉、皮膚が障害されたときの特徴的な症状、病態生理を学び、それに対する 処置・治療を理解できる。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～5	【皮膚】 1. 皮膚の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解	講義	
	6～10	【耳鼻咽喉】 1. 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解	講義	
	11～15	【眼】 1. 眼の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門Ⅱ 成人看護学12 皮膚 医学書院 成人看護学13 眼 医学書院 成人看護学14 耳鼻咽喉 医学書院 講義に必要な資料は配布します。			
参考書				
評価方法	聴講態度 筆記試験			
履修上の指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年生
授業科目	治療論 I (放射線・手術・麻酔・臨床検査)		単位(時間)	1単位 (30 時間)
講師名	放射線:熊大保健学科 手術・麻酔:宮崎正史 臨床検査:寺本和功		開講時期	前期
授業目標	1. 放射線・手術・麻酔・臨床検査の基礎的知識がわかる。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～5	【放射線】 1. X線診断 2. 血管造影 3. MRI 4. IVR 5. 核医学診断 6. 放射線治療 7. 放射線防護と健康管理	講義	
	6～11	【手術と麻酔】 1. 手術侵襲と生体反応 2. 麻酔法 3. 酸素療法と機械的人工換気 4. 体液・栄養管理 5. 外科的治療の基礎 (輸血療法)	講義	
	12 ～ 15	【臨床検査】 1. 主な臨床検査 1) 一般検査 2) 血液検査 3) 化学検査 4) 免疫・血清検査	講義	
授業形態	講義			
テキスト	別巻 臨床放射線医学 医学書院 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 別巻 臨床検査 医学書院			
参考書				
評価方法	筆記試験 聴講態度			
履修上の 指導等				

科目分類	専門基礎分野	対象学年	2年生
授業科目	治療論Ⅱ (栄養学 リハビリテーション)	単位(時間)	1単位 (30 時間)
講師名	栄養学:須崎 晶子 山下真奈美 リハビリテーション: 千原 好博	開講時期	前期
授業目標	1. 栄養の重要性および健康維持に必要な栄養について理解する。食事の種類と形態について理解する。 2. リハビリテーションの基礎的知識・技術がわかる。		
授業内容	回数	内容	授業形態
	1～11	【栄養学】 1. 人間栄養学と看護 2. 栄養素の種類と働き 3. エネルギー代謝 4. 栄養ケア・マネジメント 5. ライフステージと栄養 6. 栄養食事療法 7. 健康づくりと食品・食事・食生活 8. 演習(栄養指導)	講義
	12 ～ 15	【リハビリテーション】 1. リハビリテーションの概念 2. 理学療法の種類 3. 検査と測定法(関節可動域など) 4. 関節可動域訓練 5. 等張性、等尺性訓練 6. 移動方法 7. 演習(訓練方法) 1) 四肢長の測定 2) 関節可動域の測定 3) 関節可動域訓練 4) 筋力増強訓練 5) 障害のある人の移動	講義・演習
授業形態	講義 校内実習		
テキスト	専門基礎 栄養学 医学書院 別巻 栄養食事療法 医学書院 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
参考書	食品成分表 女子栄養大学出版部		

評価方法	筆記試験 聴講態度 校内演習態度
履修上の 指導等	校内実習時は実習に適した服装とする。

科目分類	専門基礎分野		対象学年	1年生
授業科目	薬理学		単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	内山 節子 宮崎 正		開講時期	後期
授業目標	1. 薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬物の管理について理解できる。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～15	1. 薬理学の概念 2. 末梢神経作用薬 3. 中枢神経作用薬 4. 循環器系作用薬 5. 抗炎症薬 6. 呼吸器系作用薬 7. 消化器系作用薬 8. ホルモン系・生殖器系作用薬 9. 抗感染症薬 10. 抗悪性腫瘍薬 11. 漢方薬 12. 消毒薬 13. 服薬指導	講義	
授業形態	講義			
テキスト	わかりやすい薬理学 ヌーベル HIROKAWA			
参考書				
評価方法	筆記試験 聴講態度			
履修上の 指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	1年生
授業科目	微生物学		単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	片山 卓也		開講時期	前期
授業目標	1. 微生物学の特徴と生体に及ぼす影響が理解できる。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1~15	1. 微生物の基礎 <ul style="list-style-type: none"> 1) 微生物と微生物学 2) 細菌の性質 3) 真菌の性質 4) 原虫の性質 5) ウイルスの性質 2. 感染症とその防御 <ul style="list-style-type: none"> 1) 感染と感染症 2) 感染に対する生体防御機構 3) 感染源：感染経路からみた感染症 4) 滅菌と消毒 5) 感染症と検査と診断 6) 感染症と治療 7) 感染症の現状と対策 3. おもな病原微生物 <ul style="list-style-type: none"> 1) 病原細菌と細菌感染症 2) 病原真菌と真菌感染症 3) 病原原虫と原虫感染症 4) 病原ウイルスとウイルス感染症 	講義	
授業形態	講義			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 (3) 微生物学			
参考書				
評価方法	筆記試験 聴講態度			
履修上の指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年生
授業科目	公衆衛生学		単位(時間)	1単位 (30時間)
講師名	緒方 敬子 燕 龍大		開講時期	前期
授業目標	<p>1. 人々の健康の維持増進、疾病予防のための制度や組織活動について理解できる。</p> <p>2. 健康水準を表す指標としての統計情報を理解できる。</p>			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～15	<p>序章 公衆衛生を学ぶにあたって</p> <p>第1章 公衆衛生のエッセンス</p> <p>第2章 公衆衛生の活動対象</p> <p>第3章 公衆衛生のしくみ</p> <p>第4章 集団の健康をとらえるための手法 疫学・保健統計</p> <p>第5章 環境と健康</p> <p>第6章 感染症とその予防対策</p> <p>第7章 国際保健</p> <p>第8章 地域における公衆衛生の実践</p> <p>第9章 学校と保健</p> <p>第10章 職場と健康</p> <p>第11章 健康危機管理・災害保健</p>	講義	
授業形態	講義			
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度(2) 医学書院			
参考書	国民衛生の動向			
評価方法	聴講態度 筆記試験			
履修上の 指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年生
授業科目	社会福祉		単位 (時間)	2単位 (30 時間)
講師名	東矢 義光 江口 亜梨沙 石炭 知巳		開講時期	前期
授業目標	1. 社会生活の維持向上や生活上の諸問題の解決のための活動・制度・政策を理解できる。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～15	1. 社会保障制度と社会福祉 2. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 3. 医療保障 4. 介護保障 5. 所得保障 6. 公的扶助 7. 社会福祉の分野とサービス 8. 社会福祉実践と医療・看護 9. 社会福祉の歴史	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔3〕社会福祉 医学書院			
参考書				
評価方法	筆記試験 聴講態度			
履修上の 指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	2年生
授業科目	関係法規		単位(時間)	2単位 (30時間)
講師名	船元 恵美子 谷川 之朗		開講時期	前期
授業目標	1. 医療機関と医療従事者の役割・機能に関する基本的な法律について理解できる。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～15	1. 法律の概念 2. 医事法 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 3) 医師法 4) 医療法 5) 医療従事者に関する法律 6) 臓器移植に関する法律 3. 保健衛生法 1) 地域保健法 2) 精神保健福祉法 3) 母子保健法 4) 学校保健法 5) 健康増進法 4. 薬務法 5. 環境衛生法 6. 社会保障法 7. 労働法と社会基盤整備 8. 環境法	講義	
授業形態	講義			
テキスト	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[4]看護関係法令 医学書院			
参考書				
評価方法	筆記試験 聴講態度			
履修上の 指導等				

科目分類	専門基礎分野		対象学年	1年生
授業科目	医療概論		単位(時間)	1単位 (15時間)
講師名	岸川 秀樹		開講時期	前期
授業目標	1. 医療の現状と社会的役割を理解し、医療の進歩にともなう生命の尊厳、医の倫理について理解できる。			
授業内容	回数	内容	授業形態	
	1～8	1. 医療システムを理解しよう <ul style="list-style-type: none"> 1) 医療を支える人々 2) 保健医療サービスの提供体制 3) 日本の医療保険制度 4) 医療政策と医療計画 5) 医療と経済 6) 在宅ケアの推進 7) 高齢者のケアシステム 2. 健康と何だろう <ul style="list-style-type: none"> 1) 健康の決定因子とヘルスプロモーション 2) ヘルスプロモーションの科学 3) 老人として生きる 4) 精神を病むということ 5) リハビリテーションを理解しよう 6) ノーマライゼーションの道 3. 医療がたどってきた道と未来への展望 <ul style="list-style-type: none"> 1) 近代医学の誕生 2) 日本の近代化と医療の発達 3) 人工環境と健康問題 4) 医療機器の発達 5) 臓器移植 4. 医療は誰のものか <ul style="list-style-type: none"> 1) 現代医療の目指すもの 2) 医療従事者と生命倫理 3) 患者の権利 4) 個人情報保護 	講義	
授業形態	講義			
テキスト	学生のための医療概論 医学書院			

参考書	
評価方法	筆記試験 聴講態度
履修上の 指導等	